



# 2023年度全日本学生ロードレースカップシリーズ 第14戦 埼玉県川島町小見野クリテリウムラウンド

## コミュニケ5(競技系)

ver 20240125

大会チーフコミッサー 芦澤拓郎

### 1. 各カテゴリーごとの周回数(距離)および組分け

大会要項・コミュニケを参照のこと。

スタート地点はフィニッシュ地点の先だが、最初の周回も周回数に数える。

### 2. ゼッケン・フレームプレートの取付け

(ア) ゼッケンの装着は一般規則に準じる。(右図参照)

(イ) フレームプレートは、フレーム前部中央に付けることを原則とする。

中央に取り付けられず左右に寄ってしまう場合は、左側に寄せること。また、どうしてもフレーム前部に取り付け不可能な場合、シートピラーへの取付けを認めるが、脚で隠れない様に突き出した位置に固定のこと。



### 3. スタート方式について

スタートラインにおいてピストルの合図によりスタートとするが、最初の一定距離をパレード走行とし、バイク移動審判の合図により正式スタートとする。

### 4. ニュートラリゼーションについて

移動審判員により確認された認められる事故の場合、クラス3は最後の2周を除き、クラス2とクラス1は最後の3周を除き1周のニュートラリゼーションが与えられる。

### 5. 防寒のための服装について

すべてのカテゴリーにおいてアームカバー、レッグウォーマー、シューズカバーの着用を認める。ただし、機材等に絡まる恐れのあるものや、コンプレッション機能を有する物は使用を禁じる。

### 6. 飲食料の補給について

大会要項に記載の通り、飲食料の補給は認めない。

### 7. 器材交換(ピット)について

(ア) 競技中の器材交換は、スタート地点付近に指定されたピットエリア(詳細は当日指示)でのみ、地上にいるチームスタッフからの器材提供・修理支援を認める。

(イ) 落車の原因となるので、ピット区間以外での器材修理および交換は認められない。

### 8. レースの失格・除外について

(ア) 原則として、先頭より30秒遅れた選手は、周回遅れになると見なされ、毎周回スタート地点付近で失格とします。

(イ) 周回遅れで失格となった選手は、競技の妨げにならない様にコース外へ出ること。(特に、コースの逆走は絶対にしないこと。)

(ウ) 自主的に競技を途中棄権した選手は、フィニッシュエリアの審判に必ず棄権の旨を伝えること。通告のない場合はペナルティーとなる場合があるので注意すること。

### 9. その他

(ア) 映像ユニット等を自転車に付加して走行する場合、JCF競技規則第16条3.(2)d)④規定を順守のこと。なお、本大会レース中に撮影された映像の所有権は、原則、日本学生自転車競技連盟に帰属とします。

(イ) RCS ポイント総合順位リーダーは、リーダーズジャージを着用して、スタートしなければならない。

以上